

ずっと続く医療・繋がるケア セントラル訪問診療通信

Vol. 12

今号のTOPIC！

訪問診療を始めて思うこと

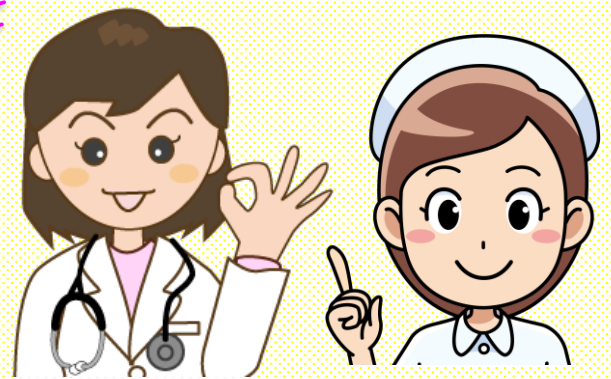
2020年9月に訪問診療がスタートし、半年が経過しました。高齢者の入院医療機関として、50年以上の経験があるものの、入院と在宅の違いに戸惑うこともありました。実際に訪問の現場に出た感想を先生と看護師さんに聞きました。

Q：訪問診療に行って
よかったことはなんですか？

A：患者さんご家族が喜んでいただけることが
すごく嬉しいです。
訪問診療に行ってよかったなと率直に思います。
外来診療よりもゆっくり時間を
とれるのもいいですね。

Q：驚いたことや入院医療との
違いはなんですか？

A：今まで入院病棟の経験だったので、
入院の適用だと思っていた方も、家でもできることが
多くあり、在宅で可能なことの奥深さに驚きました。
訪問看護師さん、ケアマネさんと連携した、支援の
広がりを感じます。



五味先生 ・ 中野看護師

Q：大変だと思うことは？

A：病棟で仕事をしていたときは、必要な検査をすぐにできました。

在宅では大きな検査が簡単にできないので、大変だなと思います。

Q：セントラル病院だからできることは？

A：やはりバックベッドがあることと、大きな検査もさほどお待たせすることなく実施できることです。

在宅でのケアはご家族の負担も大きいので、ご家族がたまに休憩できることは大切になります。事前手続きが簡素化できること、入院中も訪問診療の医師と情報共有できることも特徴の1つです。

Q：感謝してることは？

A：患者様・ご家族の方々をはじめ、在宅医療に関連する皆様との連携で「いい医療」ができることを実感しています。

特に訪問診療の仕組みについてわからないことも多く、皆様に教えていただける環境に感謝しています。

まだ半年ではありますが、多くのことを経験でき、訪問診療に関係するいろんな方とご縁があることに感謝するばかりです。

1周年、そして、その先にむけて、これからも、セントラル病院全体で訪問診療に取り組んで参ります。

今後とも、どうぞ、宜しくお願いいたします。

セントラル病院
在宅総合センター